



2021年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社ゼネラル・オイスター
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉田 秀則
(コード番号：3224 東証マザーズ)

問 合 せ 先 経営管理本部 芝田 茂樹
執行役員 本部長

(TEL. 03-6667-6606)

新たな事業に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新たな事業として、食品加工分野における受託事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社グループは、東京を中心に全国で牡蠣を主体とするレストラン（オイスタバー）26店舗を展開するほか、種苗、生産、加工、販売に至るまでの最適なバリューチェーンの構築により、安全を軸とした高品質な牡蠣の六次産業化に取り組んでおります。

その一環として、岩手県大槌町にある加工工場（以下「当社加工工場」といいます。）では、牡蠣フライなどの加工製造を行い、直営店舗などに提供してまいりました。

当社グループでは、これまで培ってきた製造技術や設備を駆使し、更なる業容の拡大を目指して、当社加工工場の有効活用を模索していたところ、今般、品質面を含め、安定した委託先を探していたA社（総合商社）（注）の要望に合致し、当社加工工場において、A社との間で、海産物の加工製造に係る受託業務に係る取引条件の合意に至ることができました。新たに食品加工分野における受託事業を開始することにより、収益力の強化につなげていきます。

（注）先方から社名等の開示を控えてほしい旨の要請があったため、非開示としております。

2. 新たな事業の概要

（1）新たな事業の内容

A社からの委託により、当社加工工場にて、海産物の加工製造を行うものです（以下「本事業」といいます。）。

（2）本事業を担当する部門

当社の加工事業を扱う大槌事業部が担当します。

（3）本事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

現在のところ、当社加工工場における既存設備を前提に考えているため、本事業のための設備投資等の特別な支出は予定していません。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2021年5月17日
(2) 本事業開始日	2021年5月18日(予定)

4. 今後の見通し

本事業について、2022年3月期は196百万円の売上を計画しており、18百万円程度の営業損益改善に寄与することを見込んでおります※。また、本営業年度を契機にA社との取扱量の増量を予定しており、3年後には、1,120百万円の売上(A社と合意した取引条件の物量を前提に、現在の取引単価をもとに算出しております)になることを計画しております。今後、その他開示が必要となった場合は、速やかにお知らせします。

※本事業につきましては、テスト生産等実施しておりますが、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以上